

私が斬る

闇式零

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

神様のミスで死んでしまった主人公 十六夜 響がチート？な能力をもらってアカメが斬る！の世界でゆっくり過ごしていく物語です。作者はアニメしか見ていないので矛盾やおかしなところが多く出てくると思います。がそこは適時修正していきたいと思います。

目次

プログラグ

1

プロローグ

皆さんこんにちは私は今真つ白な空間にいます。ここは俗に言う死後の世界なので
しょうか？昨日は家に帰ってアニメをみて寝たはずなのですが、夢なら早く覚めてほし
いものです。おっと私の名前を言ってませんでしたね、私の名前は十六夜^{いざよい}響^{ひびき}です。し
かし、全方位真つ白とはこの部屋の主は悪趣味なのでしょうか？

「誰が悪趣味じゃ」

おっと声に出てましたかね？

「わしは神じゃ」

唐突にどうしたんですかね？そしていつからいたんですか？

「さつき来たところじゃよ、それよりお前さんは死んだワシのミスでな」

目の前にいる自称神様に、私は死にましたと言われたが勿論信じる気は無い。何故な
ら死ぬようなことはしてないし、まだ見てないアニメを見る前に死ぬなんてできない。

「お前さんは寝てる間に地震が起きて落ちてきたアニメのブルーレイに潰されて死んだ
のじゃよ」

死に方がなんてしようもないのでしょうか。

「さつきも言った通りワシのミスなのでお前さんを転生させようと思う。」

特典渡して強く生きろよってやつですか？

「まあ、そうじゃの、ちなみに特典は5つまで選べるぞ」

そうですか、それでは一つ目は *f a t e* のエミヤシロウの能力で二つ目は *D I O* のスタンド世界で三つ目は黄金律 *A* 四つ目は英霊波の身体スペック最後に容姿は *f a t e* のネロの姿にしてください。

「まあまあなチートじゃのお」

そうですかね？

「とりあえずわかったわい、それじゃあ転生させるからの」

ええわかりました。

「お前さんが転生するのは「アカメが斬る！」の世界じゃ死なないように頑張れよ」

神様がそう言った瞬間私の足元の床が消えて私は落ちていきました。

「しかし、あれだけではチートにはならんのお、そうじゃもう少しだけ付け加えるかの、とりあえず「心眼（偽）*A*」とネロの宝具はつけておくかの」

これでチートにはなったじやろう、そういえばほかの転生者がいることを伝え忘れていたが大丈夫じやろう。さて、あの娘が新しい世界でどのような道を歩んでいくか興味があるが今のわしには見守ることしか出んからのお。さあ、力を与えた充分に生きて見せよ『十六夜 響』

――――

転生したはいいけどここは何処なのでしようか？とりあえず周りを探索してみましようか、しばらく探索していると洞窟があつたので、一旦そこに身を隠して解析魔術を自分にかけてみたらなんとネ口の宝具までありました。びっくりです。サービスでしようか？次にスタンドを出してみましたが一瞬だけでただけですぐに消えてしまいました。修行する必要があるそうですね。投影魔術の練習と体のスペックの確認とスタンドの修行やる事が多いですが時間はたっぷりあるので少しずつやっていきましようか。